

高病原性鳥インフルエンザへの対応について

1 発生状況（12月8日現在）

11月5日、香川県三豊市で「第1例目」の発生が確認されて以降、これまでに、「6県・19農場」で発生し、疫学関連農場を含め、約237万羽が殺処分の対象

所在地	農場数	確認日	飼養羽数
香川県 三豊市・東かがわ市	10	11月5日～12月2日	約171.3万羽
福岡県 宗像市	1	11月25日	約 9.2万羽
兵庫県 淡路市	1	11月25日	約 14.5万羽
宮崎県 日向市・都農町・都城市 ・小林市	5	12月1日～12月8日	約 20.0万羽
奈良県 五條市	1	12月6日	約 8.3万羽
広島県 三原市	1	12月7日	約 13.4万羽
合 計	19		約236.7万羽

2 本県の対応状況（11月25日以降）

11月26日

- 兵庫県淡路市で国内10例目が確認されたことから危機管理会議を開催
 - ・県境の消毒ポイント（6箇所）における消毒の徹底
 - ・小動物の侵入対策の徹底、野鳥の監視体制の強化
 - ・殺処分など防疫措置の具体的な対応シミュレーションの早急な実施
 - ・死亡野鳥を見つけた際の対応や通報の手順などの周知
 - ・「鳥肉、卵」の安全性について正確な情報提供を行い風評被害を防止

12月 2日

- 香川県三豊市で国内13、14例目が確認されたことから危機管理会議を開催
 - ・殺鼠剤の配付による小動物の侵入防止対策
 - ・野鳥の監視体制についてフリーダイヤルの設置やホームページで周知
 - ・本県での発生時の初動対応に必要な全庁体制の確認
 - ・事態の長期化を見据えた防疫資材の追加備蓄・予算措置を検討

12月 7日

県庁及び農林水産総合技術支援センターにおいて、県対策本部会議（県庁）と現場とのWEBによる情報共有や、泡殺鳥機・炭酸ガスを用いた殺処分など、県内での発生を想定した初動対応について、「実戦形式での防疫演習」を実施。